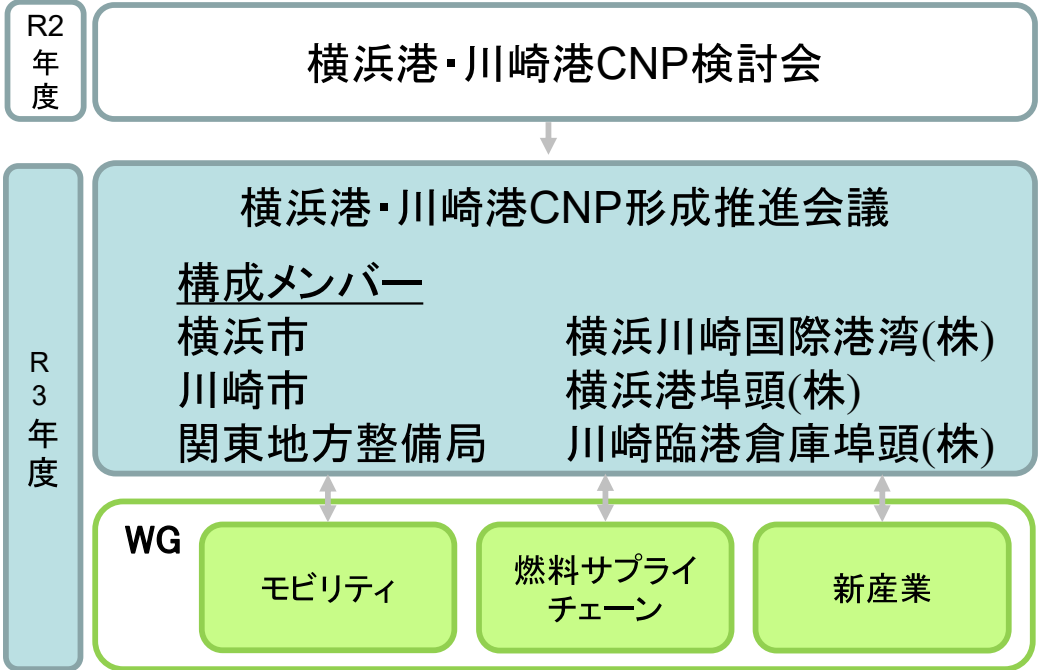


横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート (CNP)形成推進会議について

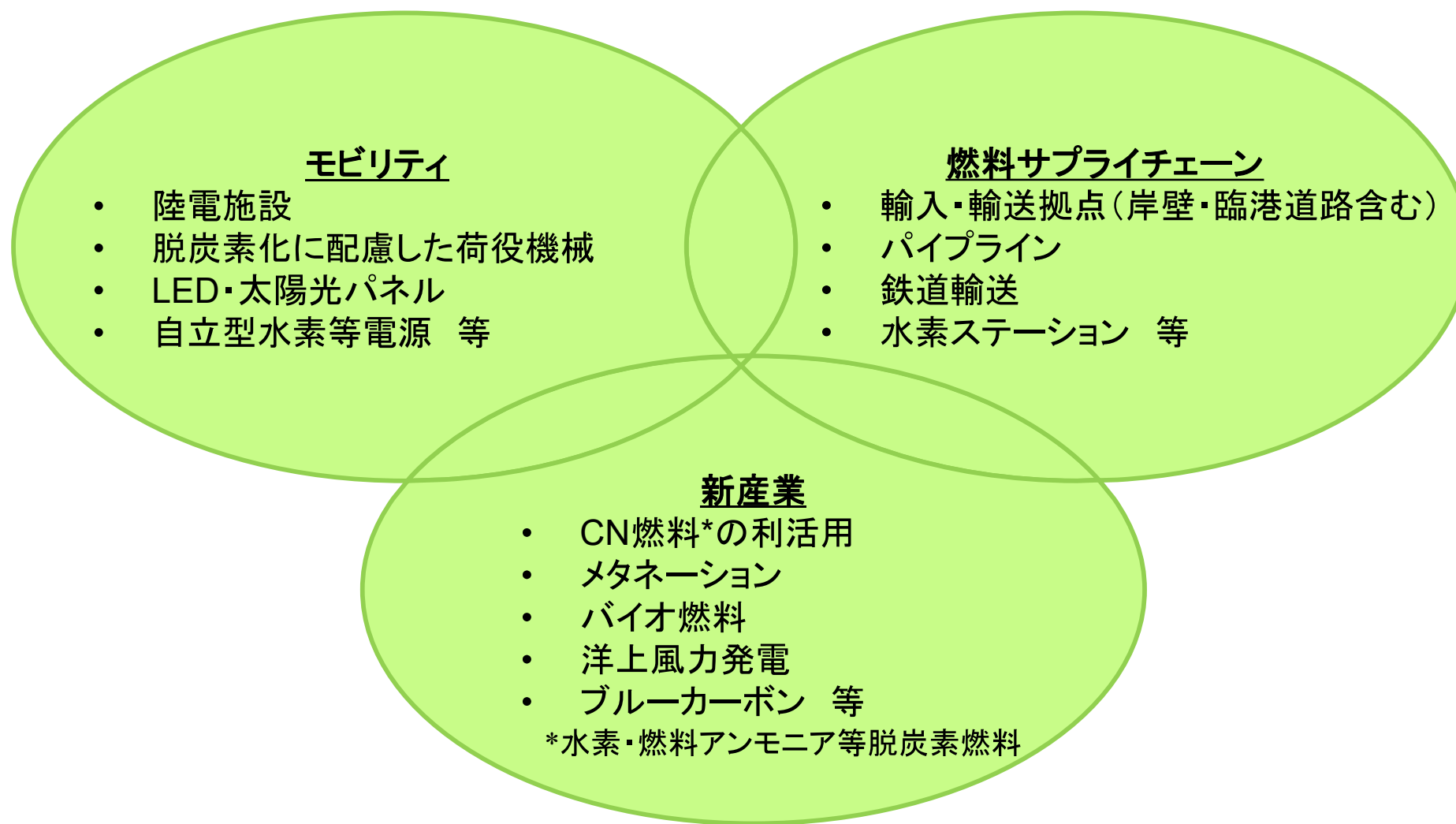
横浜港・川崎港カーボンニュートラルポート(CNP)形成推進会議

- 国土交通省では、全国のコンテナ・バルクターミナルのうち多様な産業が集積する6地域7港湾を対象として、カーボンニュートラルポート(CNP)検討会を3回実施(1月～3月)し、令和3年4月2日に検討結果を公表。
- 令和3年4月以降、脱炭素化の動きが官民において加速化。政府におけるCNPの動きは以下のとおり。
 - ・ 日米首脳共同声明(令和3年4月16日)において、日米両国がCNPについて協力することが明記。
 - ・ 令和3年6月18日「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が更に具体化され、2025年においてCNP形成計画を策定した港湾が全国で20港以上となることを目指す旨記載。
 - ・ 国土交通省本省では、CNP の形成に向けた取組の加速化を図る各種方策について整理するため、「カーボンニュートラルポートの形成に向けた検討会」(令和3年6月8日)を開催。
- つについては、横浜港・川崎港において、横浜港・川崎港及び全国的な取組状況の情報共有や、CNP形成に向けた具体的な取組の検討を深化させることを目的とした、推進会議を立ち上げる。



- 推進会議のスケジュール**
- 第1回:7月15日
- ・ CNPの最近の動向について情報共有
 - ・ WGの設置
(WGの検討事項等について)
- 第2回:9月頃
- ・ 具体的な取組の検討の深化
- 第3回:1月頃
- ・ 具体的な取組の整理
- ※10月上旬に、広く企業・団体の参加を募って「横浜港・川崎港CNPセミナー(仮称)」を開催予定。
- ※第4回以降の開催は議論の進捗具合により決定。

WGの検討テーマ(一例)



国内の2030年温室効果ガス46%減に貢献・2050年カーボンニュートラルポート形成
⇒港湾の国際競争力強化・新産業創出